

資料2の比較表の項目作成の考え方

基本コンセプト（機能例は抜粋）		比較項目	主な指標
①	町民に親しまれ、利用しやすい庁舎 <ul style="list-style-type: none"> ○ 窓口機能の集約、利用者の動線を考慮した配置 ○ 十分な広さの駐車場を確保する ○ バリアフリー等のユニバーサルデザインに配慮 ○ 子どもや高齢者を見守る事が出来るスペース ○ プライバシーに配慮した安心な相談スペース ○ 産業医等の往診も受けられる急病室の設置 ○ 銀行ATM、売店、憩いのスペース 等 	①利便性	人口重心点からの直線距離 主要幹線道路等の道路アクセス 広い駐車場の確保 町内の最寄駅からの直線距離
②	災害に強く、防災の拠点となる庁舎 <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災・復興拠点としての集約した機能 ○ 防災物資備蓄倉庫を設置する ○ 救援車両・避難所等の設置ができるスペース ○ 防災ヘリの発着ができるスペース 等 	②防災拠点性	洪水等自然災害への安全性 災害時の周辺道路の確保 陸路以外（防災ヘリ等）の発着陸
③	町民の活動・官民協働の拠点となる庁舎 <ul style="list-style-type: none"> ○ 町民が気軽に利用できる会議室や活動スペース ○ 町民の活動報告を展示できるスペース 等 	③まちづくりの視点	インフラ（上下水道等）整備の必要性 周辺環境（日照・風通等）との調和
④	多様化し変化する行政ニーズに柔軟に対応できる庁舎 <ul style="list-style-type: none"> ○ 組織機構の変化に柔軟に対応できる執務室構造 ○ 書庫・倉庫の充実 ○ 職員用の休憩室 等 	④経済性	仮設庁舎の必要性
⑤	町づくりの拠点となる庁舎 <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域活性化の拠点となる ○ 公共交通を整備する ○ 各種の情報コーナーの充実 等 		
⑥	議会活動を推進する庁舎 <ul style="list-style-type: none"> ○ 町民のニーズや利用しやすさに配慮した傍聴席 ○ 議会の独立性とセキュリティの確保 等 		
⑦	環境に配慮した、効率的・経済的な庁舎 <ul style="list-style-type: none"> ○ 施設の長寿命化などを考慮 ○ 省エネルギー配慮などの環境対策 等 		

